

INTERTECH

安全データシート (SDS)

【製造者情報】

会 社 : インターテック株式会社
住 所 : 〒123-0873 東京都足立区扇 2-23-1
電 話 番 号 : 03-5837-5550
FAX 番 号 : 03-5837-5551
緊急連絡先 : 同上

整理番号 02071701

改訂日 : 2017年7月26日

【製品名】

ポリカーボネート樹脂

グレード名

エコ PC-H3000 全着色品

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : ポリ-4,4'-イソプロピリデン-ジフェニルカーボネート
(通称: ポリカーボネート)
成分及び含有量 : 1. ポリカーボネート 97.7wt% 以下
2. 離型剤 0.3wt% 以下
3. 着色剤 2.0wt% 以下
化学式又は構造式 : 1. $(C_{16}H_{14}O_3)_n$
CAS No. 及び官報公示整理番号

	1	2
官報公示 (化審法)	(7) -738	
整理番号 (安衛法)	(7) -738	
CAS No.	25971-63-5	25101-28-4

国連分類及び国連番号 : 該当せず

【危険有害性の分類】

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

【応急措置】

目に入った場合 : 溶融物の場合は、直ちに清浄な水で15分間以上洗浄し、医師の診断を受ける。
通常の場合は、直ちに清浄な水で洗浄し、異常があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 溶融物の場合は、直ちに清浄な水で15分以上冷やす。皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。火傷があれば医師の診断を受ける。
吸入した場合 : 溶融物から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、回復を待つ。咳、呼

飲み込んだ場合 : 吸困難やその他の症状が出た時は、医師の手当てを受ける。
危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じる様であれば医師の診断を受ける。

【火災時の措置】

消化方法 : 水をかけて消化するのが有効である。
尚、火災時には、一酸化炭素等の有害なガスが発生する恐れがあるので、消化は風上から行う。

消化剤 : 水、泡沫消化剤、粉末消化剤

【漏出時の措置】

掃き取り、回収又は廃棄する。
ペレット、粉末は床上、地面に残ると滑る危険性が高いので、こまめに処理する。
排水系などに漏出した場合は、鳥類、魚類等への悪影響があるので全量回収する。

【取り扱い及び保管上の注意】

取 扱 い : (1) ペレット状の樹脂は、常温では引火、爆発の恐れはないが、作業場では、火気をみだりに使用しない。
(2) 粉末状の樹脂がある場合は、粉塵爆発の可能性があるため、空気輸送、バグフィルター、ホッパー等にアースを設け、静電気を除去する。
(3) 加工時は、一酸化炭素等の有害なガスを発生する恐れがあるので、ガスを吸収しないようにする。
又、火傷の恐れがあるので、高温の樹脂には直接触れないようにする。
(4) 樹脂が熱分解を起こすので、長時間高温状態で滞留させない。

保 管 : 熱、発火源から離れた場所で保管する。

【暴露防止及び保護措置】

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 : 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、設定されていない。しかし、ポリカーボネート樹脂の粉末に対しては、次の値を採用するのが妥当と考える。

日本産業衛生学会勧告値（1992年版）第3種粉塵

吸入性粉塵	2 mg/m ³
総粉塵	8 mg/m ³

ACGIH 勧告値（92～93年版）一般粉塵

総粉塵	10 mg/m ³
-----	----------------------

設備対策 : 粉塵を発生する場合や、高温で加工を行う場合に、樹脂の分解による一酸化炭素やヒスフェノール A 等の有害なガスが発生する恐れがあるので、快適な作業環境を得る為、適切な局所廃棄設備の設置が必要である。

保護具 : 呼吸用保護具 : 防塵マスク、保護マスクを着用して下さい。

保護手袋 : 熔融樹脂を取り扱う際は、革手袋を着用する。

【物理/化学的性質】

外観等 : ペレット状
沸点 : なし
ガラス点移点 : 153°C
比重 : 1.15
溶解度 : 水に不溶

【危険性情報（安定性・反応性）】

引火点 : 522°C以上 2)
発火点 : 550°C以上 2)
爆発限界 : 下限 ; 25g/m³
可燃性 : あり 但し、酸素指数 26 以上、UL-94 V-2(3.2mm 厚)相当
発火性 : なし (自然発火性、水との反応性) : なし
酸化性 : なし
自己反応性・爆発性 : なし
粉塵爆発性 : 最小着火エネルギー 25mJ
最大爆発圧力 6.7kg/cm²(0.6Mpa)
安定性・反応性 : 常温・常圧で安定

【有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）】

皮膚腐食性 : なし
刺激性 : なし
感作性 : 既知見なし
急性毒性 : (50%致死量等を含む) 既知見なし
亜急性毒性 : エコ PC としてのデータはないが、構成成分のデータを参考に示す。
・ ポリカーボネート
30～40 匹の雌雄のラットに、微粉化したポリカーボネートを 6% 含粥状の飼料を自由摂取させ、8 週間飼育した。
体重の低下なし。血液像、X 線検査、病理解剖、臓器の組織検査の結果は正常。5)
慢性毒性 : 既知見なし
がん原生 : 既知見なし
変異原生 : (微生物、染色体異常) 既知見なし
生殖毒性 : エコ PC としてのデータはないが、構成成分のデータを参考に示す。
・ ポリカーボネート
30～40 匹の雌雄のラットに、微粉化したポリカーボネートを 6% 含粥状の飼料を自由摂取させ、8 週間飼育した。
その結果、生殖機能は正常であった。
催奇形性 : 既知見なし

【環境影響情報】

分解性	:	既知見なし
蓄積性	:	既知見なし
魚毒性	:	既知見なし
その他	:	海洋生物や鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

【廃棄上の注意】

埋め立てるときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い公認の産業廃棄物処理業者若しくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。

焼却する時は、焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。

【輸送上の注意】

コメント： 空気輸送を行う場合は、静電気災害防止対策をとるのが望ましい。梱包袋が破れないように水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。もし破袋してペレットが飛散したときは、滑って転倒しない様に注意する。

【適用法令】

廃棄物処理法 : 廃プラスチックに該当する。

【その他の情報】

記載内容の取り扱い：

記載内容は、現時点で入手し得る資料、情報、データに基づいて作成しています。含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用法、用途に適した十分な安全・環境対策を講じた上でご使用下さい。

引用文献等：

- 1) 「樹脂ペレット樹脂流出防止マニュアル」プラスチック工業連盟 平成5年2月
 - 2) R.M.Asseva and G.E.Zaikov :”Cumbution of Polymer
 - 3) 粉体と工業 1984年5月号 p.66
 - 4) 「プラ工連ニュース No.48」プラ工連 S54.11.1
 - 5) G.Bornmann et.al.,Arzneimittel-Forsh.,9,9(1970)
 - 4) 「廃プラ Q&A 」工業用熱可塑性樹脂技術連絡会
-

【記載内容の問い合わせ先】

インターテック株式会社

〒123-0873 東京都足立区扇 2-23-1

電話 番号： 03-5837-5550 FAX 番号： 03-5837-5551